

## 9. 河川管理の現状

### 9-1. 河川管理施設

後志利別川における河川管理施設等の整備の状況は以下のとおりである。

#### ■堤防

表9-1 後志利別川水系堤防整備状況

	延長(km)
完成堤防	59.3(94.9%)
暫定堤防	0.2 (0.3%)
未施工区間	3.0 (4.8%)
堤防不要区間	36.5
計	99.0

延長は、直轄管理区間（ダム管理区間を除く）の左右岸の計である。

（出典：北海道開発局資料）

#### ■洪水調節施設

完成施設 : 美利河ダム

#### ■排水機場等

河川管理施設 : 13.0 m<sup>3</sup>/s

許可工作物 : 11.84 m<sup>3</sup>/s （直轄管理区間の施設）



美利河ダム

### 9-2. 砂利採取

後志利別川においては、河床低下の防止、河川管理施設及び許可工作物の維持管理のための砂利採取規制が行われている。

### 9-3. 水防体制

#### ① 河川情報の概要

後志利別川では、流域内に雨量観測所（14箇所） 水位観測所（6箇所）を設置し、無線等により迅速に情報収集を行うとともに、これらのデータを用いて河川の水位予測等を行い水防活動に活用している。また、近年では光ケーブル網により接続された遠隔監視カメラを用いた管理も行き、迅速な水防活動の一助となっている。



光ケーブル網・遠隔監視カメラで見た樋門（CCTV）

## ② 水防警報の概要

後志利別川では、洪水による災害が起こるおそれがある場合に、「花石」「住吉」「今金橋」「大富」「河口」の5カ所の基準水位観測所の水位をもとに、水防関係機関に対して、河川の巡視や災害発生防止のための水防活動が迅速かつ的確に行えるように水防警報を発令している。

## ③ 洪水予報

後志利別川では、水防法及び気象業務法に基づき、「洪水予報」を後志利別川幹川を対象河川として気象台と共同で発表している。流域の雨量や水位の状況、水位予測等を一般住民にわかりやすく迅速に伝えるべく整備を進めている。

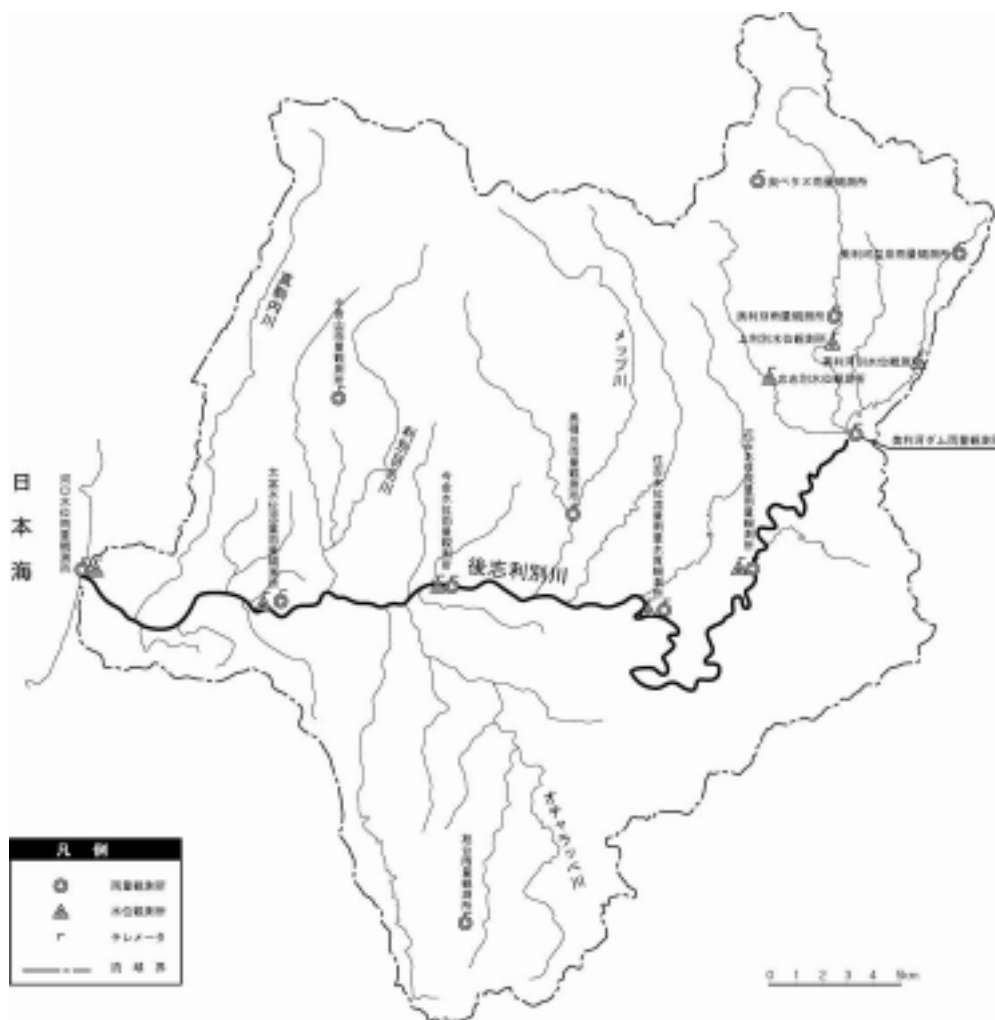


図9-1 後志利別川の雨量・水位観測所配置図

(出典：北海道開発局資料)

## 9-4. 危機管理への取り組み

### ① 水防連絡協議会との連携

洪水・高潮等による被害発生防止または軽減を行うため、国及び地方自治体の関係機関が連携し、住民の避難、水防活動等を迅速かつ円滑に行うために、水防連絡協議会が結成されている。この協議会により、重要水防箇所の合同巡視、水防団、水防資材の整備状況の把握、定期的な水防訓練等を行っている。



水防訓練

### ② 水質事故対策の実施

油類や有害物質が河川に流出する水質事故は、流域内に生息する魚類や生態系のみならず、水利用者にも多大な被害を与える。水質事故が発生した場合、その被害を最小限にとどめることが重要である。このため、環境保全連絡協議会により連絡体制を強化するとともに、水質事故訓練等を行い迅速な対応を行うことが大切であり、また、水質事故に備え、常時から資機材の備蓄を行っている。



水質事故の状況

### ③ 洪水危機管理の取り組み

洪水危機管理において、平常時から危機管理に対する意識の形成を図るとともに、洪水発生時の被害を最小限に抑えるため、浸水想定区域図を公表するとともに水防計画・避難計画の策定の支援、土地利用計画との調整を関係機関や地域住民等と連携して推進している。

## 9-5. 地域との連携

後志利別川では、清流保全に向けて流域全体での連携した取り組みが行われている。

「後志利別川流域懇談会」「後志利別川に親しむ会」が行われている。これは、今後の川のあるべき姿や、川づくりのあり方について、地域の代表者等と意見交換を行う場として設置しているものである。懇談会等の委員は河川をフィールドとして活動している住民団体等の地域の代表、流域自治体の代表、河川管理者等で構成されている。

表9-2 地域懇談会の開催状況

懇談会名	構成主体
後志利別川流域懇談会	NPO・地元自然愛護団体、漁業・森林関連団体、土地改良区関連団体、教育関連機関、環境関連団体、関係行政機関、河川管理者
後志利別川に親しむ会	一般参加（流域住民）、NPO、地元自然愛護団体、内水面漁業関連団体、関係行政機関、河川管理者



後志利別川に親しむ会 (H16)

一方、今後、流域のまちづくり事業と連携し、河川を地域レクリエーション、防災、まちづくりの拠点として位置づけ、地域と一体となった河川管理を行うことが必要とされている。地域住民と協力して河川管理を進めるためには、インターネット等のメディアを利用するなどして、地域住民に様々な河川情報を発信するとともに、地域からの河川整備に対する要望等を集約し、住民参加型の管理体制を構築する必要がある。また、河川清掃や、節水、水の再利用などを通じて、地域の人々の河川に対する愛護精神を啓発していくことも重要である。



後志利別川清流保護の会のみなさん



後志利別川の河川清掃活動の状況 (H15)



後志利別川での水生生物観察会における水質調査 (H15)